

第4節 秘書広報課

〔総括概要〕

秘書広報課の主な分掌事務は、秘書関係及び広報広聴関係業務である。

秘書関係業務については、市長のトップマネジメントが十分発揮できるよう秘書機能の充実に努めたほか、合併後初めてとなる市政功労者等の表彰や市内各団体等との円滑な交流推進を図るための新春賀詞交歓会などを、関係団体等の協力の下実施した。また、西方町との合併を記念し、市民と一緒に本市の新しい門出を祝い、新生「栃木市」の一体感を醸成するため、10月14日に栃木文化会館において合併記念式典を挙行了した。

広報業務については、市民に市政への理解と関心を高めてもらうため、広報紙の定期発行をはじめ、報道機関等への情報提供、公式ホームページの活用等、きめ細やかな広報活動を展開した。広報紙については、毎月1回発行し、内容の充実を図り、市政のPRと情報伝達の円滑化に努めた。

広聴業務については、市政に対する理解と協力を得るため、市長へのアイデア直通便、パブリックコメント制度、まちづくり懇談会ふれあいトークを実施するなど市民との対話の機会を設け、市民の自治意識高揚と市政参加の推進に努めた。

秘書担当

1 市長のホームページの管理

- ・市長のメッセージの更新 年4回（春夏秋冬）
- ・市長の主な動きの更新 月1回（各月ごとにその翌月に写真で紹介）
- ・市長の交際費支出状況の更新 月1回（各月ごとにその翌月15日頃）

2 下野新聞社への市長日程の提供

毎週水曜日に次週の市長日程の抜粋を報告した。

3 表彰

市政功労者、徳行者及び市民栄誉賞受賞者の表彰式を開催した。

- ・開催日 3月28日（水）
- ・場 所 市役所 正庁
- ・市政功労者表彰（敬称略）

表彰条例第3条第1項による表彰（各種委員等における永年在職者）

自治会長	在職20年	岸 貞 吉
人権擁護委員	在職12年	柏 崎 恵美子
人権擁護委員	在職15年	齋 藤 美代子
人権擁護委員	在職18年	増 山 文 男
消防団員	在職41年 2か月	大 塚 政 和

消防団員	在職 21年 10か月	岡 本 治
消防団員	在職 32年 10か月	越 沼 稔
消防団員	在職 32年 9か月	寺 内 貢
消防団員	在職 30年 10か月	長 尾 芳 昭
消防団員	在職 22年 10か月	茂 呂 晃 男
消防団員	在職 22年 10か月	味 村 勝 弘
寺尾財産区議員	在職 12年	白 沢 栄 幸
少年補導員	在職 20年 9か月	牧 野 千賀子
母子保健推進員	在職 23年 9か月	青 木 悦 子
母子保健推進員	在職 29年 9か月	志 鳥 桂 子
母子保健推進員	在職 20年 9か月	関 口 光 子
母子保健推進員	在職 20年 9か月	野 村 春 美
母子保健推進員	在職 23年 9か月	橋 本 洋 子
民生委員児童委員	在職 22年 1か月	繁 岡 哲 哉
都市計画審議会委員	在職 12年 6か月	増 山 正 明
西方町町議会議員	在職 15年 6か月	早乙女 照 雄
西方町町議会議員	在職 19年 6か月	和賀井 政 雄
選挙管理委員会委員	在職 15年 7か月	若 林 祐 市
学校医	在職 21年 9か月	大 場 昭 夫
学校医	在職 21年 9か月	酒 井 俊 通
学校医	在職 21年 9か月	高 田 一 男
学校医	在職 21年 9か月	田 中 勝之助
学校医	在職 27年 2か月	船 越 修 二
学校医	在職 27年 9か月	百 瀬 正 明
学校歯科医	在職 21年 9か月	井 本 明 基
学校歯科医	在職 21年 9か月	入 野 光 市
学校歯科医	在職 23年 9か月	庄 野 英 雄
学校歯科医	在職 21年 9か月	根 本 進
学校薬剤師	在職 22年 3か月	荒 井 京 子
学校薬剤師	在職 22年 9か月	大豆生田 民江
学校薬剤師	在職 22年 3か月	佐 山 勝 英

・徳行者表彰（敬称略）

表彰条例第4条第1項による表彰

徳 行 板 倉 安 秀

徳 行 大 杉 清 一

徳 行 白 川 よし子

徳 行 吉 村 榮 市

徳 行 アドバンスト フィルム ディバイス インク株式会社

徳 行 株式会社センタービレッジコーポレーション

1 1月号～4月号 1回47,600部

・仕様 A4判

号	ページ数		号	ページ数		号	ページ数	
	4色	2色		4色	2色		4色	2色
13	4	24	17	4	24	21	4	24
14	4	28	18	4	28	22	4	24
15	4	32	19	4	32	23	4	28
16	4	28	20	4	24	24	6	46

(2) 視聴覚障がい者等への広報

ア 広報とちぎ点字版

- ・発行回数 定期6回（2か月に1回）
- ・発行部数 1回30部
- ・仕様 B5判点字用紙（約25ページ）

イ 声の広報とちぎ

朗読ボランティアあかり及び朗読グループいずみの協力を得て発行

- ・発行回数 定期12回
- ・発行時期 広報とちぎの発行後録音（カセット・CD）

(3) ホームページによる広報

高度情報化社会において有効な通信手段であるインターネットを利用して、公式ホームページを開設し、本市のまちづくりやイベント・観光案内、生活ガイド等の情報を積極的に県内外に発信し、広報活動のより一層の充実に努めた。

- ・アクセス件数（ページビュー数）3,334,017件

(4) テレビ・ラジオ等による広報

ア CATVコミュニティチャンネル

広報とちぎの内容や市政等について、ケーブルテレビ(株)に番組制作を委託し、同社のコミュニティチャンネル（デジタル111チャンネル）で放送した。

主な番組

- ・自治体広報番組「栃木市からこんにちは」
18分番組で、3月26日（月）から31日（土）の間放送された。
- ・生活文字情報
文字スクロールによる生活情報で、毎週月・水・金曜日に10分間放送された。
（1日4回）

イ とちぎテレビ

本市政のPRによるイメージアップを図るため、(株)とちぎテレビに番組制作を委託し、同社で放送した。

- ・新春特別番組「2012年 わが街発！」
30分番組のうち10分間で、1月1日（日）、2日（月）（再放送）に放送された。

ウ 栃木放送（CRT）

(株) 栃木放送に番組製作を委託。市長が街づくりの抱負や行政運営、将来の展望について語り、市政のPRをおこなった。

- ・2012年新春特別番組「新しい年を迎え栃木市長に聞く」

10分番組で、1月1日(日)、3日(火)(再放送)に放送された。

エ エフエム栃木

本市のイメージアップや観光への誘客を図るために、市政のPR及び市内の各種行事等の情報を県内全域に発信する市の広報番組の製作を(株)エフエム栃木に委託した。

- ・「MY CITY とちぎFM」

生放送で毎週月曜日に55分間放送した。

(5) 報道機関等への情報提供

ア 記者会見(中央記者クラブ)

- ・定例記者会見 毎月1回
- ・予算記者会見 年1回
- ・臨時記者会見 随時

※その他の報道機関へは、定例・臨時記者会見資料を随時提供

イ 市政情報の提供(FAXにより随時)

- ・情報提供件数 294件

(6) 広報活動推進員による活動

各課から1人、広報活動推進員を選任し、広報活動の円滑な事務を行う。

- ・広報活動推進員 73人
- ・研修会実施日 6月20日(月)

(7) その他

資料の提供として、随時関係機関に写真の提供を行った。

2 広聴関係

(1) 市長へのアイデア直通便

市民から市政に対し、幅広くアイデアやご提案、ご意見を聴き、施策に反映させ、市民との協働・共生のまちづくりに資するため、広報とちぎに料金受取人払いの「市長へのアイデア直通便」を掲載し、投書受付を実施した。

- ・受付通数 69通(提案件数 107件)

(2) 市政メール箱(電子メール)

インターネットを利用した広聴活動を実施するため、ホームページ内に電子メールによる投書窓口「市政メール箱」を開設し、投書受付を実施した。

- ・投書件数 98件

(3) 投書箱

本庁及び各総合支所に投書箱を設置し、投書受付を実施した。

- ・投書件数 31件

(4) 市政に関する意見の郵送及びFAXの受付

市民からのご意見を郵送及びFAXにより投書受付をする。

- ・投書件数 22件

(5) パブリックコメント

主要な施策の策定の過程において、市民の市政に対する意見や提案の機会を確保するとともに、政策決定過程への市民の参加を促進し、市民との協働によるまちづくりの推進を図るため、パブリックコメント制度（市民意見提出制度）を実施した。

- ・実施件数 11件

(6) 県の施設をみる「県民バス」（県民プラザ室主催）

県政への理解と協力を得るため、県主催により県民バスが実施された。

- ・実施日 11月10日（木）
- ・参加者 34人
- ・見学施設 農業試験場、林業センター

(7) 市民討議会

無作為に抽出した市民1,000人を対象に参加を促し、（社）栃木青年会議所との共催により、とちぎ市民討議会2011を開催した。

- ・実施日 9月11日（日）
- ・場 所 市役所 正庁
- ・参加者 25人
- ・テーマ 「今、震災を経験して」
～3月11日、あの日から考えること～
① あの時、困ったこと、心配したことは何ですか
② 震災を経験して、取り組んでいることはありますか
③ 今後、私たちはどんな備えが必要ですか

(8) まちづくり懇談会ふれあいトーク

市民と市のコミュニケーションの場を設け、お互いの理解を深め、住みよいまちづくりを推進するため、市内各地域において開催し、市政に対する意見・提案等を聴くことにより、行政上の課題や市民生活上の問題点を把握し、市政に反映することを目的に開催した。

- ・栃木地区

開催日	出席者（人）	会場
8月3日（水）	112	第6地区コミュニティセンター
8月4日（木）	82	第4地区コミュニティセンター
8月9日（水）	114	吹上公民館
8月10日（水）	90	第5地区コミュニティセンター
8月23日（火）	72	皆川公民館
8月24日（水）	91	国府公民館

- ・大平地区

開催日	出席者（人）	会場
10月17日（月）	76	大平西地区公民館
10月18日（火）	94	大平東地区公民館

10月19日（水）	80	大平南地区公民館
-----------	----	----------

・藤岡地区

開催日	出席者（人）	会場
7月12日（火）	44	部屋地区公民館
7月13日（水）	53	藤岡遊水池会館
7月14日（木）	55	三鴨地区公民館
7月19日（火）	29	赤麻地区公民館

・都賀地区

開催日	出席者（人）	会場
10月3日（月）	55	南部コミュニティセンター
10月4日（火）	57	家中小学校体育館
10月12日（水）	43	赤津小学校体育館

・西方地区

開催日	出席者（人）	会場
11月15日（火）	45	西方総合文化体育館
11月16日（水）	42	西方公民館
11月17日（木）	34	真名子夢ホール